

令和4年度10月期

令和5年度4月期

金沢大学大学院新学術創成研究科

(博士後期課程)

# 学生募集要項

第1回～第3回

金沢大学大学院新学術創成研究科

令和4年4月

(注意)

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

## - 目次 -

出願手続から入学までの日程 .....	3
1. 新学術創成研究科の概要 .....	4
2. 募集人員 .....	4
3. 出願資格 .....	4
4. 出願資格認定申請手続 .....	5
(1) 出願資格認定申請方法 .....	5
(2) 出願資格認定申請期間 .....	5
(3) 出願資格認定申請書類 .....	6
(4) 認定審査の結果 .....	6
5. 出願手続 .....	6
(1) 出願方法 .....	6
(2) 出願期間 .....	6
(3) 出願書類 .....	7
(4) 出願及び受験にあたっての注意事項 .....	9
(5) 障がいのある者等の事前相談 .....	9
(6) その他 .....	9
6. 入学者選抜試験 .....	9
(1) 試験期日及び場所 .....	9
(2) 選抜方法 .....	9
7. 合格者発表 .....	10
8. 入学手続 .....	10
(1) 入学手続期間 .....	10
(2) 入学時に必要な経費 .....	10
9. 個人情報の保護 .....	11
10. 経済的支援制度 .....	11
(1) 入学料・授業料免除 .....	11
(2) 奨学制度 .....	11
11. 融合科学共同専攻に係る留意事項 .....	12
12. 連絡先 .....	12

## 出願手続から入学までの日程

	第1回	第2回 ※4	第3回 ※4
出願 ※1 ※2	令和4年 6月20日(月) 午前9時00分から 6月24日(金) 午後4時30分まで	令和4年 9月15日(木) 午前9時00分から 9月22日(木) 午後4時30分まで	令和4年 12月13日(火) 午前9時00分から 12月19日(月) 午後4時30分まで
受験票DL開始 ※3	令和4年 7月6日(水) 午前9時00分から	令和4年 10月5日(水) 午前9時00分から	令和5年 1月4日(水) 午前9時00分から
試験	令和4年 7月19日(月) ～7月22日(金)の うち専攻の指定する日	令和4年 10月17日(月) ～10月21日(金)の うち専攻の指定する日	令和5年 1月16日(月) ～1月20日(金)の うち専攻の指定する日
合格者発表	令和4年 8月9日(火)	令和4年 11月8日(火)	令和5年 2月7日(火)
入学手続	令和4年 9月中旬	令和5年 3月中旬	
入学	令和4年 10月1日	令和5年 4月1日	

※1 「3. 出願資格」の⑥、⑦又は⑧により出願を希望する者は、出願前に別途審査を受ける必要があります。「4. 出願資格認定申請手続」を確認してください。

※2 Web 出願システムで、出願期間の1週間前から事前登録することができます。

※3 Web 出願システムで、試験当日までに受験票をダウンロードしてください。

**※4 第1回の志願状況等により、第2回以降を実施しない場合があります。実施の有無については、随時研究科 Web サイトを確認してください。**

研究科 Web サイト <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

### 【重要】

本学大学院博士前期課程在籍者で、修了要件である研究とりまとめの方法として、修士論文ではなく QE (Qualifying Examination) を選択する者に対し、上記とは別の日程で選抜を実施する。詳細は令和4年6月頃に公表する。

### 『自然災害により被災した志願者の検定料免除』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学の機会を確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免

除に関する詳細は、本学 Web サイトを確認してください。

本学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL 076-264-5180 E-mail [nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp)

## 1. 新学術創成研究科の概要

融合科学共同専攻	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/policy/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/policy/</a>
	研究指導教員： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/faculty/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/faculty/</a>
	授与する学位： 博士（融合科学）、博士（理学）又は博士（工学）
ナノ生命科学専攻	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/policy/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/policy/</a>
	研究指導教員： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/faculty/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/faculty/</a>
	授与する学位： 博士（ナノ科学）

## 2. 募集人員

	令和4年度10月期入学	令和5年度4月期入学
融合科学共同専攻	若干名	14名
ナノ生命科学専攻	若干名	6名

## 3. 出願資格

博士後期課程に出願することのできる者は、次の①から⑧のいずれかに該当する者です。

なお、「本学入学の前日」とは、令和4年度10月期入学試験に出願する場合は「令和4年9月30日」、令和5年度4月期入学試験に出願する場合は「令和5年3月31日」です。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び本学入学の前日までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び本学入学の前日までに授与される見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び本学入学の前日までに授与される見込みの者

- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び本学入学の前日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び本学入学の前日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び本学入学の前日までに合格見込みの者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
  - 1) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
  - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、本学入学の前日までに24歳に達するもの

⑥、⑦又は⑧により出願を希望する者は、出願前に別途審査を受ける必要があります。「4. 出願資格認定申請手続」（5～6ページ）を確認してください。

## 4. 出願資格認定申請手続

### (1) 出願資格認定申請方法

「3. 出願資格」（4～5ページ）の⑥、⑦又は⑧により出願を希望する者は、各回の出願資格認定申請期間に「12. 連絡先」（12ページ）あてメールで、出願資格認定申請書類を電子データで提出してください。その際、メールの件名を「大学院新学術創成研究科博士後期課程出願資格認定申請：●●（申請者氏名）」としてください。

※添付ファイルが5GBを超える場合は、ファイル送信サービス等を利用してください。

### (2) 出願資格認定申請期間

第1回	第2回	第3回
令和4年6月6日（月） ～6月10日（金） 午後4時30分まで	令和4年9月1日（木） ～9月7日（水） 午後4時30分まで	令和4年11月28日（火） ～12月5日（月） 午後4時30分まで

### (3) 出願資格認定申請書類

① 全員：入学試験出願資格認定申請書（様式 I）、研究業績等調書（様式 II）及び「5. 出願手続」（6～9 ページ）＞（3）出願書類＞①Web 出願システムでアップロードするもの一式

② 「3. 出願資格」（4～5 ページ）の⑥により出願を希望する者のみ：

出身大学長等が作成したもので、以下の内容が記載された文書及び添付書類（外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

#### 【記載例】

□□大学としては、本学の学生である●●氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告します。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。

#### 【添付書類の例】

ア) 当該審査の合格基準

イ) 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類

ウ) 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類

③ 「3. 出願資格」（4～5 ページ）の⑧により出願を希望する者のみ：

専門基礎科目に関する課題（課題は申請前に、希望する研究指導教員に確認してください。）

### (4) 認定審査の結果

認定審査の結果は、申請者あてメールで通知します。

出願資格「有り」と認定された後、「5. 出願手続」（6～9 ページ）の手続きを行ってください。

## 5. 出願手続

### (1) 出願方法

各回の出願期間にオンライン（Web 出願システム）で必要な情報を登録し、書類をアップロードし、検定料（30,000 円）を支払った後、「12. 連絡先」（12 ページ）あてメールで、「出願確認票（提出用）」を電子データで提出してください。その際、メールの件名を「大学院新学術創成研究科博士後期課程出願：●●（出願者氏名）」としてください。

※学内進学者（金沢大学のいずれかの大学院修士課程または博士前期課程を修了後、引き続き本研究科博士後期課程に入学しようとする者）及び国費外国人留学生は、検定料を支払う必要がありません。Web 出願システムでの手続き方法が変わりますので、出願前に「12. 連絡先」（12 ページ）に問い合わせてください。

Web 出願システム

<http://www.guide.52school.com/guidance/net-kanazawa-u/>

### (2) 出願期間

「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）のとおり

※Web 出願システムでの必要な情報の登録，書類のアップロード，検定料の支払いは，出願期間の1週間前から可能です。ただし，「出願確認票（提出用）」の提出は，出願期間に限ります。

(3) 出願書類

① Web 出願システムでアップロードするもの

◆記載内容が読み取れるよう丁寧にスキャンしてください。また，入学手続き時に原本を提出する必要がありますので，それまで大切に保管してください。

番号	書類	備考
1	顔写真データ	出願者本人と判別できるもの。 カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100kB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
2	志願者調書（様式1）	必要事項を記入してください。
3	成績証明書◆	ア。「3. 出願資格」（4～5ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者は，出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。 イ。「3. 出願資格」（4～5ページ）の⑦に該当する者は，出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。 ウ。「3. 出願資格」（4～5ページ）の⑥，⑧に該当する者は，最終学歴の学校長が作成したもの（修得科目名及び単位数が記載されているもの）。
4	修了（見込）証明書◆	出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了（見込）証明書 ただし，「3. 出願資格」（4～5ページ）の⑥，⑦，⑧に該当する者は，最終学歴の学校長が作成したもの。 なお，本学大学院博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は不要です。
5	修士の学位論文等	「3. 出願資格」（4～5ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者で，修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を有する（授与された）者は，「修士論文の概要（様式自由）」又は「研究又は開発業務等の概要（様式2）」。和文・英文のいずれでも可。A4判5ページ以内。補足資料の添付は不可。 ----- 「3. 出願資格」（4～5ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者で，修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を取得（授与される）見込みの者は，「研究経過報告書（様式自由。修士論文の研究題目とその研

番号	書類	備考
		究の進捗状況を要約したもの)。和文・英文のいずれでも可。A4判3ページ以内。補足資料の添付は不可。 「3. 出願資格」(4～5ページ)の⑥, ⑦, ⑧に該当する者は, 「研究又は開発業務等の概要(様式2)」。和文・英文のいずれでも可。A4判5ページ以内。補足資料の添付は不可。 論文実績, 学会発表実績を示す資料(様式自由) 研究等に関する発表論文別刷(受理されているものに限る)等の資料及び参考となると思われる書類(写し)がある場合は, 添付してください。
6	口頭発表概要(様式3)	口述試験において発表する内容の概要。和文・英文のいずれでも可。A4判1ページ以内。補足資料の添付は不可。
※以下は該当する者のみ		
7	受験許可書(様式4) ◆	官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することを希望する者は, 所属長(又は指導者)が作成した受験許可書を提出してください。なお, 出願時に提出できない場合は, 入学手続時に承諾書等を提出することとします。出願前に「12. 連絡先」(12ページ)に問い合わせてください。
8	パスポートの写し	外国籍の者は, パスポート(氏名が記載されたページ)の写しを提出してください。また, 出願時に日本に在留している者は, 在留カード(表, 裏)の写しも併せて提出してください。
9	在留カードの写し	
10	戸籍抄本等の写し	改姓(改名)により証明書等の氏名と異なる者は, 変更の事実を証明できる戸籍抄本等の写しを提出してください。

② 「12. 連絡先」(12ページ) あてメールで提出するもの

番号	書類	備考
11	出願確認票(提出用)	申込確認ページからダウンロードし, 提出してください。 注1. 出願確認票は, 必要な情報の登録, 書類のアップロード, 検定料の支払いが完了しないとダウンロードできません。 注2. 出願確認票(確認用)とは異なるので, 注意してください。



(4) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願前（出願資格認定申請を行う場合は、その前）に必ず、希望する研究指導教員に連絡し、合格した場合の受入れの了承を得てください。
- ② すべての登録情報・提出書類に不備がないか確認してください。不備がある場合は出願を受け付けないことがあります。
- ③ 海外に在住し、試験日当日に渡日が困難な場合は、出願時に申し出てください。
- ④ 提出論文の返却を希望する者は、出願時に申し出てください。
- ⑤ **合格・入学手続後に登録情報・提出書類の不正が発覚した場合、入学手続時に原本の提出が必要な書類を提出できなかった場合は、合格・入学許可を取り消す**ことがあります。

(5) 障がいのある者等の事前相談

障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願前に「12. 連絡先」（12 ページ）に以下の書類を添えて問い合わせてください。

- ① 事前相談書（様式自由）
  - 氏名
  - 障がいの種類・程度
  - 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
  - 大学等でとられていた配慮
  - 日常生活の状況
  - その他参考となる事項
- ② 医師の診断書
- ③ その他の参考書類（障害者手帳の写し等）

(6) その他

出願時に修了見込みの資格で本研究科に合格した者は、入学手続時に卒業又は修了証明書を提出する必要があります。ただし、本学大学院博士前期課程又は修士課程修了見込みの者を除きます。

## 6. 入学者選抜試験

(1) 試験期日及び場所

期日	試験科目等	試験場
「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）のとおり	口述試験	金沢大学

※具体的な集合時間及び集合場所は、受験票印刷開始日以降に別途案内します。

※海外に在住し、試験日当日に渡日が困難と申し出た者については、オンラインで試験を実施します。

(2) 選抜方法

選抜は、「学力検査（口述試験）」及び「学業成績証明書」を総合して行います。

口述試験	「修士論文」、「研究経過報告書」、「研究又は開発業務等の概要」のいずれか及び「大学院博士後期課程入学後の抱負」について、口頭発表（20分程度）及び質疑応答
------	---

※口述試験において、ノート PC を持ち込み、液晶プロジェクターの使用を希望する者は、志願者調書所定欄の該当区分に○をつけてください。

※書面による学力確認を行うことがあります。その場合は、出願後に希望する研究指導教員から連絡します。

## 7. 合格者発表

「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）で示す日の午前 10 時頃  
研究科 Web サイトに合格者の受験番号一覧を掲載するとともに、合格者あて郵便で通知（当日発送）します。また、オンライン（合否照会システム）で合否を確認することができます。電話・メールによる合否の照会には応じません。

研究科 Web サイト>受験生へ

<https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/examinee/>

合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/goukakusyuhappyou>

## 8. 入学手続

### (1) 入学手続期間

「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）のとおり

※具体的な手続方法は、手続期間の 1 週間前までに別途案内します。

### (2) 入学時に必要な経費

#### ● 授業料等納付金

入学料 282,000 円（予定）

授業料 半期分 267,900 円（予定）（年額 535,800 円（予定））

※上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料、授業料を改定した場合には、改定時から新入学料、新授業料を適用します。

※学内進学者（金沢大学のいずれかの大学院修士課程または博士前期課程を修了後、引き続き本研究科博士後期課程に入学しようとする者）及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

※国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

#### ● 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険料 3 年分 2,600 円（予定）

学研災付帯賠償責任保険料 3 年分 1,020 円（予定）

※入学手続時に振込みにより納入する必要があります。

## 9. 個人情報の保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出を課す書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- 入学後の本学ポータルサイト利用、学内 LAN 利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- 修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ、アセスメント）、同窓会及び基金活動へ支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務
- 融合科学共同専攻の学生は、北陸先端科学技術大学院大学において本学と同様の学内サービスを受けるための業務

## 10. 経済的支援制度

### （1）入学料・授業料免除

免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額、納入すべき学期の授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は、入学手続期間前に案内する大学院入学手続要項で確認してください。

### （2）奨学制度

#### ① 研究科独自の奨学制度

新学術創成研究科では、経常的な収入がなく、指導教員の推薦を受けた者に対し、独自の給付型奨学金制度を設けています。博士後期課程在籍時は、月額 10 万円を支給します。詳細は、合格通知とあわせて案内します。

#### ② 日本学生支援機構及び民間の育英団体等の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構、都道府県、市区町村、民間の育英団体等が主宰し、修了後に返還義務が生じる貸与奨学金と返還義務の生じない給付奨学金があります。詳細は、各団体の Web サイトを参照してください。

#### ③ 本学独自の外国人留学生を対象とする奨学制度

金沢大学では、私費外国人留学生を対象に、独自の奨学制度を設けています。詳細は、以下の web サイトを参照してください。

<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>

- ④ 給付型奨学金を伴う博士人材育成プログラム  
本募集要項の巻末の一覧を参照してください。

## 11. 融合科学共同専攻に係る留意事項

融合科学共同専攻は北陸先端科学技術大学院大学との共同教育課程です。次のことを確認の上、出願してください。

- 希望する主任研究指導教員が所属する大学に出願し、当該大学で入学者選抜試験を受験し、入学手続を行ってください。一方の大学で入学手続を完了した者は、他方の大学の入学者選抜試験に合格していても入学手続を行うことはできません。
- 学生は、希望する主任研究指導教員（主として研究指導を担当する専任教員）が所属する構成大学に本籍を置き、本籍大学の主任研究指導教員及び他方の構成大学の副主任研究指導教員を含む複数の指導教員体制により教育研究・学生生活等の指導助言を受けます。
- 本学で所定の課程を修めた者には、本学及び北陸先端科学技術大学院大学の連名により「博士（融合科学）」、「博士（理学）」又は「博士（工学）」の学位を授与します。なお、修了要件として、北陸先端科学技術大学院大学でのラボローテーションや、博士後期課程から入学する者は北陸先端科学技術大学院大学において10単位以上を修得する必要があります。
- 北陸先端科学技術大学院大学が開講する科目については、北陸先端科学技術大学院大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが、メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や、集中講義形式による開講など、通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。
- 本学に本籍を置く学生も、北陸先端科学技術大学院大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。ただし、一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。

## 12. 連絡先

金沢大学学務部学務課新学術創成研究科係

〒920-1192 石川県金沢市角間町（角間キャンパス中地区本部棟2階）

TEL: 076-264-5971

E-mail: [s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp)

給付型奨学金を伴う博士人材育成プログラム

プログラム名 Program Name	卓越大学院 プログラム WISE Program for NANO-Precision Medicine, Science, and Technology	次世代精鋭人材創発 プロジェクト Project for Remarkable Ph.D. Students in Next Generation	大学フェローシップ創設事業 University Fellowship Creation Project		
			融合サイエンス・トップ 研究者育成フェローシップ Fellowship program/ Bottom- up type for Graduate School of Frontier Science Initiative	情報科学と医工融合による 「異分野横断型」研究者育成 フェローシップ Fellowship program/ Information and AI fields	マテリアル革新力を備え オープンイノベーション 時代を牽引する人材育成 フェローシップ Fellowship program/ Materials field
対象研究科 Target Graduate School	自然科学研究科 Graduate School of Natural Science and Technology 医薬保健総合研究科 Graduate School of Medical Sciences 先進予防医学研究科 Graduate School of Advanced Preventive Medical Sciences 新学術創成研究科 Graduate School of Frontier Science Initiative	全研究科 All Graduate Schools	新学術創成研究科 Graduate School of Frontier Science Initiative	自然科学研究科(電子情報科学 専攻, 機械科学専攻) Division of Electrical Engineering and Computer Science, Division of Mechanical Science and Engineering Graduate School of Natural Science and Technology 医薬保健学総合研究科 Graduate School of Medical Sciences 先進予防医学研究科 Graduate School of Advanced Preventive Medical Sciences	自然科学研究科 Graduate School of Natural Science and Technology
課程 Course	MD	D	D	D	D
募集定員 Number of Students to be Selected	12名	年度により異なる。 大学全体で120名を支援。 The number differs in each year. In total, 120 students at KU are supported.	10名	7名	10名
事業内容 Content	学位プログラム Degree Program	研究支援・キャリア形成支援 Supports for research and career development			
入学料 Admission Fee (¥282,000)	全額免除 Full Exempt				
授業料 Tuition Fee (¥535,800)	全額免除 Full Exempt				

奨学金・ 奨励金/月 Scholarship・ Incentives (per month)	M/¥50,000 D/¥100,000	¥180,000	¥175,000	¥180,000	¥175,000
その他 Other	独自 RA 経費有 Research Assistant Salary available	研究費年額 Research Fundings ¥400,000/ per year	研究費年額 Research Fundings ¥400,000/ per year	研究費年額 Research Fundings ¥340,000/ per year	研究費年額 Research Fundings ¥400,000/per year
対象制限等 Restrictions	<p>学振 DC, JASSO 奨学金, 国費, 学習奨励費, 母国・大学独自奨学金受給者は不可。 アルバイト従事不可。 Following people cannot apply; Research fellowship for young scientists of JSPS, JASSO Scholarship recipients, Government-sponsored international student, Recipients of Home country scholarship recipients, KU Scholarship student. Recipients cannot work part-time jobs.</p>	<p>学振 DC, 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、国費外国人留学生と同等以上の奨学金等の支援を本国から受ける留学生、所属する大学・企業等から、生活費相当額として十分な水準(240万円/年)の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている学生は不可。 外国人留学生の場合は、本学大学院修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等(在外の現地法人を含む)または外資系企業の日本国内の事業所に研究・開発職での就職を誓約することが必要。 Following people cannot apply; Research Fellowship for young scientists of JSPS/ Int'l students who are supported by MEXT/ Int'l students who are supported by Government or any other organizations and receiving the same or more amount of scholarship as MEXT/ Students receiving salary, scholarship etc. which enough as living expenses (¥2,400,000/year and more). International students are required to work or research for more than 3 years at a ① Japanese company(incl. overseas subsidiary), ②university, ③ research institute, and so on in Japan.</p>	<p>社会人, 30歳以上, 学振 DC, 国費, 母国奨学金受給者は不可。 外国人留学生の場合は、本学大学院修了後、3年以上、①日本の企業, ②大学, 研究所(在外の現地法人を含む)または日本国内に事業所を有する外資系企業に研究・開発職での就職を誓約する者のみ対象。 Following people cannot apply; students who are employed, over 30 years old, research fellowship for young scientists of JSPS, home country scholarship recipients. International students are required to work or research for more than 3 years at a ①Japanese company(incl. overseas subsidiary), ②university, ③research institute, in Japan.</p>		

※上記は R3.12 の内容です。詳細は必ず大学に確認すること。Make sure to contact to Graduate Schools for details.

外国人留学生日本就職促進プログラム  
留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。  
プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は 100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて 4 月・10 月の年 2 回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、外国人留学生日本就職促進プログラムに係る問い合わせ先は以下のとおりです。  
金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045